

コース・ナンバリング制度について

本学では、2015年度より授業科目に対して、主な学問分野やレベル・授業形態を示すコード（以下、「コース・コード」という）を付番する「コース・ナンバリング制度」を導入します。授業選択などの際に、各学部・大学院・センターが提供する様々な科目を、付番されているコース・コードを用いて検索することで、学びたい学問分野を探し、体系的に学ぶための一つのツールとして活用してください（コース・コード検索は、Webシラバスの検索画面で選択できます）。※コース・コードはあくまでも目安となります。授業内容の詳細は、必ずシラバスをよく読んで、確認してください。

■『早稲田大学コース・コード』の構造

全ての授業科目には、「4つのアルファベット」-「3つの数字」-「1つのアルファベット」からなる8桁の文字列が付番されています。各文字列が示すコードの意味は、以下のとおりです。

『早稲田大学コース・コード』

= 「学問分野」（1・2・3・4・6文字目）+ 「レベル」（5文字目）
+ 「科目番号」（7文字目）+ 「授業形態」（8文字目） の4つのカテゴリで構成。

< 詳細説明 >

ABC X - 1 0 1 - L

コード名称	大分類分野コード	中分類分野コード	小分類分野コード	レベルコード	科目番号	授業形態コード
該当コード	1・2・3文字目	4文字目	6文字目	5文字目	7文字目	8文字目
説明	主な学問分野を示す			レベルの目安を示す	科目を識別する	授業の実施形態を示す

①大分類分野コード

付番科目の「主な学問分野」（大分類）を、アルファベット3文字で示します。

②中分類分野コード

付番科目が分類される[大分類]の中で、さらに分類される分野（中分類）を、アルファベット1文字で示します。

※中分類の分類が無い分野においては、“X”が付番されます。

③小分類分野コード

付番科目が分類される[大分類-中分類]の中で、さらに分類される分野（小分類）を、数字1文字で示します。

➤ 上記の分野コードが示す学問分野の詳細については、「早稲田大学分野コード表」を参照してください。（Webシラバス画面より参照可能）

④レベルコード

付番科目の「レベルの目安」を、数字1文字で示します。コードの示す意味は以下のとおりです。

レベルコード	レベルの目安	対象
1	初級レベル、入門的・導入的位置づけの科目 (大学1年次レベル)	学士課程
2	中級レベル、発展的・応用的内容を扱う科目 (大学2年次レベル)	
3	上級レベル、実践的・専門的に高度な内容を扱う科目 (大学3年次レベル)	
4	学士課程で学修する最終段階の水準の科目 (大学4年次レベル)	
5	—	—
6	修士レベルの科目	修士課程・専門職学位課程
7	博士レベルの科目	博士課程
8	—	—
9	—	—

⑤科目番号

科目を識別するための通し番号を、1から順番に付番しています。

※一部の分野においては、設置科目数の関係で、異なる科目であっても重複した番号が付番される場合もあります。

⑥授業形態コード

付番科目の「授業の実施形態」を、アルファベット1文字で示します。コードの示す意味は以下のとおりです。

授業形態コード	授業形態
L	講義
S	演習 / ゼミ
W	実習 / 実験 / 実技
F	外国語
P	実践形式 / フィールドワーク / インターンシップ / ボランティア など
G	研究指導
T	論文
B	対面授業 + オンデマンド授業
O	オンデマンド授業
X	その他

以 上